

行政（一般方式）専門問題

平成30年5月施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は**10題**あります。そのうち**3題**を選択して解答してください。
3. 解答時間は**2時間**です。
4. 解答に当たっては、解答用紙の表紙に記載された**注意**をよく読んでください。
5. この冊子は持ち帰ることができますが、**解答用紙は絶対に持ち帰らないで**ください。

次の出題分野10題のうちから3題選択のこと

1. **憲法** 環境権の意義及び根拠について、それぞれ説明せよ。なお、大阪空港公害訴訟を含む環境権に関する最高裁判決の動向にも言及すること。
2. **行政法** 行政罰の意義を述べた上で、行政罰の種類を二つ挙げ、それぞれ説明せよ。
3. **民法** 債務不履行による損害賠償について、意義、損害賠償の範囲、損害賠償の範囲の特則を、それぞれ説明せよ。
4. **経済学** マンデル＝フレミング・モデルの概要を述べた上で、小国を前提として、変動相場制の下で資本移動が完全に自由である場合における、財政政策と金融政策の効果について、それぞれ説明せよ。
5. **財政学** 租税の根拠に関する二つの説をそれぞれ説明した上で、租税の負担配分に関する二つの原則を、それぞれ説明せよ。
6. **政治学** ルソーの社会契約説における「自然状態」と「一般意志」について、それぞれ説明せよ。
7. **行政学** 行政組織における独任制と合議制の意義、独任制と合議制の特徴について、それぞれ説明した上で、日本における独任制及び合議制の例を、それぞれ説明せよ。
8. **社会学** マッキーヴァーによる社会集団の類型を二つ挙げ、それぞれ説明せよ。なお、両者の関係についても言及すること。
9. **会計学** 発生主義と実現主義について述べた上で、費用収益対応の原則について説明せよ。なお、個別的対応と期間的対応の違いについても言及すること。
10. **経営学** イノベーションについて、シュンペーターの理論に言及した上で、生産性のジレンマ及びイノベーターのジレンマを、それぞれ説明せよ。